

平成 21 年度  
事業報告書

自 平成 21 年 4 月 1 日  
至 平成 22 年 3 月 31 日

社団法人日本ボート協会

## 平成 21 年度事業報告

協会事業の目的とする「ボート競技を振興して日本国民の体力の向上とスポーツ精神を育成することによりわが国文化の向上に寄与すること」に基づき当年度事業を実施した。

「全日本選手権大会及び各種競漕会の開催」については、第 31 回全日本軽量級選手権エイトの勝者に世界選手権派遣の資格を与え、新たな見地から大会の活性化と競争意識を高めることに取り組んだ。第 2 回全日本マスターズレガッタを開催して 800 名を超える参加者を得たことで、第 3 回大会以降の開催に弾みが付いたこと、また、若年層のボート競技普及を推進する観点から全国中学選手権競漕大会の競技運営に携わり、これら大会等を通じて競技者人口の増大が実現できたこと、が大きな収穫であった。

「オリンピック及び国際競漕大会への日本代表団派遣」については、新たにドイツからマックスラート氏をヘッドコーチに迎え、国内・国外強化合宿で質の高いトレーニングを重ねた。その結果、U23 世界選手権で男子軽量級フォアクルーが 2 位を獲得し将来に期待を繋いだ。世界選手権、世界ジュニア選手権、アジア選手権に加えて、第 5 回東アジア競技大会に日本代表選手団を派遣した。シニア、U23、ジュニアの合同合宿を開催するなど、新たな試みも積極的に取り入れた。

「調査・研究・指導・強化及び普及啓発」については、例年のとおり、審判養成・研修、各種の指導者、インストラクター及びアドバイザー養成に加えて、選手強化事業と競技者育成事業として各年代に即した国内・海外での選手強化合宿を実施した。また、普及啓発事業として、第 22 回全国マシニング大会とボート普及イベントへの参加、全国ボート場所在市町村協議会との連携強化、関連団体への助成金交付と業務支援等を行った。メディカル・ドーピング検査関連では、医師の大会派遣と遠征帯同、ドーピング検査と講習会の開催などを実施して啓発に努めた。

「競技者資格の決定」については、都道府県協会・競技団体とのインターネットによる選手登録・競技エントリーシステムの運用が完全実施となり、当年度には全都道府県で運用体制が整った。もっと広い層からボート競技への参加機会の増大を柱とする新たな選手登録制度についても検討ワーキンググループの活動をスタートさせた。

「ボート競技に関する図書の刊行」については、広報誌発行のほか、報道機関、メディア等に向けた広報活動として、記者懇談会、取材機会の提供などを行い協会事業の広報活動に努めた。協会ホームページの充実に努め、21 年度の総アクセス数は、約 450 万件となっている。

当年度は、当協会が重要課題として推進するプロジェクトについて、「人口増大と魅力向上プロジェクト」については、マスターズ大会の開催などを通じてボート人口が増加傾向を示し、ボート競技に取り組む人々が全国的にも着実に伸びていることを実感する得難い機会となった。

「財政強化プロジェクト」については、当年度後半からは全世界的な経済環境の激変を受けて、我々スポーツ界を囲む環境も一挙に暗転し、今のところ早急な環境の好転も期待できない状況となった。協会の財政収支も悪化する事態を招来し、これを反省材料として今後の財政強化活動に取り組みねばならない。厳しい経済状況の中、寄附あるいは事業協賛を通じて協会財政を支えていただいた団体、個人に対して深甚な感謝の意を表したい。

## ■平成 21 年度実施事業

本会は、ボート競技を振興して日本国民の体力の向上とスポーツ精神を育成することにより、わが国文化の向上に寄与することを目的として、以下の事業を行った。

### 1. 全日本選手権大会及び各種競漕会の開催に関する事業

本年度は以下の全日本選手権大会及び競漕会を開催した。大会成績は附属資料のとおり。

競漕会名	開催期日	開催場所・会場
JAPAN CUP 第 31 回全日本軽量級選手権大会	5/21 (金) ～23 (日)	埼玉県・戸田ボートコース
第 2 回全日本マスターズレガッタ	6/13 (土) ～14 (日)	長野県下諏訪町漕艇場
JOC ジュニアオリンピックカップ 第 7 回全日本ジュニア選手権大会	6/12 (金) ～14 (日)	熊本県・菊池市斑蛇口湖ボート場
第 59 回全日本社会人選手権大会	7/4 (土) ～5 (日)	宮城県・宮城県長沼ボート場
第 29 回全日本中学選手権競漕大会	7/25 (土) ～26 (日)	岐阜県・長良川国際ボートコース
第 57 回全日本高等学校選手権競漕大会	8/1 (土) ～4 (火)	埼玉県・戸田ボートコース
第 36 回全日本大学選手権大会	8/20 (木) ～23 (日)	埼玉県・戸田ボートコース
第 49 回オックスフォード盾レガッタ	8/22 (土) ～23 (日)	埼玉県・戸田ボートコース
第 87 回全日本選手権大会	9/10 (木) ～13 (日)	埼玉県・戸田ボートコース
第 64 回国民体育大会ボート競技	9/27 (日) ～30 (水)	新潟県・新潟県立津川漕艇場
第 50 回全日本新人選手権大会	10/16 (金) ～18 (日)	埼玉県・戸田ボートコース
第 21 回全国高等学校選抜大会	23/3/20 (土) ～22 (月)	静岡県・浜松市天竜ボート場

### 2. オリンピック大会及びこれに準ずる国際競漕大会に日本を代表するクルー及び役員を選定し、参加させることに関する事業

#### (1) 国際競漕大会派遣事業

本年度は以下の国際競漕大会へ日本代表クルーを選定し、派遣した。各大会の参加種目、成績は附属資料のとおり。

競漕大会名	開催期日	開催国・場所
FISA ワールドカップ第 2 戦	6/19 (金) ～21 (日)	ドイツ・ミュンヘン
FISA ワールドカップ第 3 戦	7/10 (金) ～12 (日)	スイス・ルツェルン
FISAU23 世界選手権大会	7/23 (木) ～26 (日)	チェコ・ラシセ
FISA 世界ジュニア選手権大会	8/5 (水) ～8 (土)	フランス・ブリーブラガイヤルド
FISA 世界選手権大会	8/23 (日) ～30 (日)	ポーランド・ポズナン
第 13 回アジア選手権大会	11/5 (木) ～8 (日)	台湾・宜蘭
第 15 回アジアジュニア選手権大会	11/5 (木) ～8 (日)	台湾・宜蘭
第 5 回東アジア競技大会	12/5 (土) ～13 (日)	中国・香港

## (2) 国際審判員派遣事業

国際競漕大会で審判業務に従事のため、本年度は以下の大会へ国際審判員を派遣した。

競漕大会	開催期日	開催国・場所
FISA ワールドカップ第1戦	5/29 (金) ~ 31 (日)	スペイン・バニョーレス
FISA 世界選手権大会	8/23 (日) ~ 30 (日)	ポーランド・ポズナン
FISA 世界マスターズレガッタ	9/3 (木) ~ 6 (日)	オーストリア・ウィーン
第13回アジア選手権大会	11/5 (木) ~ 8 (日)	台湾・宜蘭
第15回アジアジュニア選手権大会	11/5 (木) ~ 8 (日)	台湾・宜蘭
第5回東アジア競技大会	12/5 (土) ~ 13 (日)	中国・香港

## (3) 国際関係事業

国際連盟の事業活動、競技規則、大会開催計画、各国動向など、最新情報を把握のため、本年度は以下の国際会議へ担当役員他を派遣した。

会議名	会議日程	開催国・場所
国際漕艇連盟 (FISA) 年次通常総会	8/31 (月)	ポーランド・ポズナン
アジア漕艇連盟 (ARF) 年次通常総会	11/8 (日)	台湾・宜蘭

## 3. ボート競技に関する諸規則の制定に関する事業

### (1) 競漕規則の改定に関する事業

平成20年度通常総会に於いて、競漕規則第4条並びに23条、9条並びに31条、13条並びに27条の改訂を審議し、承認された。平成21年6月1日から、改訂規則を施行した。

### (2) ボートコース認定に関する事業

下記のボートコースについて、日本ボート協会コース規格規定に基づく認定調査を行い、当協会の公認コースとして認定した。

コース名称	所在地	等級	距離/レーン数	認定有効期間
富山県漕艇場	富山市岩稲	B	1000m/6レーン	21/7/25~5年間
新田名部川ボートコース	青森県むつ市	C	1000m/3レーン	21/7/25~5年間
小見川ボートコース	千葉県香取市	B	1000m/5レーン	21/8/17~5年間
川辺漕艇場	岐阜県川辺町	B	1000m/6レーン	21/8/17~5年間
鹿野川湖漕艇場	愛媛県大洲市	C	1000m/3レーン	21/12/17~5年間
百間川ボートコース	岡山県岡山市	B	1000m/6レーン	22/3/25~5年間
塩屋湾特設コース	沖縄県	C	1000m/3レーン	22/3/25~5年間

#### 4. ボート競技に関する調査・研究・指導・強化ならびに普及啓発に関する事業

##### (1) 審判関係事業

###### 1) 大会審判業務

当年度の国会主催・主管大会へ審判長、副審判長、審判員を派遣し、大会審判業務を行った。

###### 2) 審判員研修・養成事業

審判員の資格試験と認定試験及び研修会と講習会を以下のとおり実施した。

事業名	開催日程	開催場所	参加者数
第70回審判員研修会 (B級審判員認定試験併催)	5/15(木)～18日(日)	埼玉県・戸田コース	30名
第71回審判員研修会 (B級審判員認定試験併催)	10/16(木)～19日(日)	埼玉県・戸田コース	40名
審判員講習会(C級審判員認定試験)	都道府県協会の要請により随時開催		

##### (2) 指導者養成事業

###### 1) (財)日本体育協会公認スポーツ指導者養成事業

日本体育協会公認スポーツ指導者制度に基づく各指導者資格取得のための養成講習会及び資格更新のための義務研修会を以下のとおり開催した。

養成指導者名	開催日程	開催場所	養成担当	人数
コーチ(専門科目)	10/30(木)～11/3(月)	埼玉県戸田市	日本ボート協会	21名
指導員(専門科目)	11/20(金)～23(日)	愛媛県今治市	日本ボート協会	17名
	1/16(土)17(日)	熊本県菊池市	日本ボート協会	17名
全国指導者講師講習会	10/31(土)～11/1(日)	埼玉県戸田市	日本ボート協会	25名
資格更新義務研修会	5/4(日)他	滋賀県大津市他	日本ボート協会 開催県ボート協会	30名
スポーツドクター	10月～22年2月	都内	日本体育協会	1名
アスレティックトレーナー	10月～22年2月	都内	日本体育協会	1名

###### 2) 日本ボート協会認定ボートインストラクター養成事業

ボート普及を担う指導者人材を養成するため、ボートインストラクター養成講習会を以下のとおり開催した。当年度の認定者は116名、累計255名となった。

事業名	開催日	開催場所	主管団体	受講者数
第1回講習会	5/17(日)	千葉県・小見川ボート場	千葉県協会	7名
第2回講習会	6/21(日)	石川県・津幡漕艇競技場	石川県協会	11名
第3回講習会	6/28(日)	福島県・荻野漕艇場	福島県協会	18名
第4回講習会	11/8(日)	兵庫県・加古川市立漕艇センター	兵庫県協会	45名
第5回講習会	3/7(日)	東京都・墨田区	東京都協会	35名

### (3) 日本ボート協会認定セーフティアドバイザー養成事業

全国的な安全意識の向上を目指して、公認セーフティアドバイザー研修会を以下のとおり実施した。本年度、全国で開催された安全講習会は附属資料のとおり。また、「アクシデントレポート制度による事故情報の収集」を制度化して、アクシデント、インシデントのレポートを収集し事故発生状況の把握と事故防止策の立案を行った。レポートの詳細は添付資料のとおり。

事業名	開催日程	会場	受講者数
平成 21 年度講習会	12/6 (日)	埼玉県・戸田公園管理事務所	17 名

### (4) 選手強化事業

#### 1) 国内合宿

シニア、U23 及びジュニア日本代表選手の競技力強化を図るため、強化合宿を以下のとおり実施した。

区分	事業名	場所	実施日程
シニア	4 月強化合宿	埼玉県・戸田ボートコース	4/11 (土) ~24 (金)
	5 月強化合宿	滋賀県・瀬田ボートコース	5/7 (月) ~13 (水)
	6 月強化合宿	埼玉県・戸田ボートコース	5/31 (日) ~6/5 (金)
	7 月強化合宿	千葉県・小見川ボート場	7/21 (火) ~31 (金)
	10 月強化合宿	岐阜県・川辺漕艇場	10/15 (木) ~28 (水)
	11 月強化合宿	埼玉県・戸田ボートコース	11/12 (木) ~26 (木)
	12 月強化合宿	埼玉県・戸田ボートコース	12/1 (火) ~3 (木)
	1 月強化合宿	埼玉県・戸田ボートコース	22/1/9 (土) ~18 (月)
	2 月強化合宿	埼玉県・戸田ボートコース	22/2/15 (月) ~21 (日)
	3 月強化合宿 (1)	埼玉県・戸田ボートコース	22/2/26 (金) ~3/4 (木)
3 月強化合宿 (2)	岐阜県・川辺漕艇場	22/3/9 (火) ~20 (土)	
U23	5 月強化合宿	埼玉県・戸田ボートコース	5/27 (水) ~29 (金)
	6 月強化合宿	千葉県・小見川ボート場	6/19 (金) ~22 (月)
	7 月強化合宿	富山県・桂湖漕艇場	7/6 (月) ~10 (金)
	1 月強化合宿	埼玉県・戸田ボートコース	22/1/9 (土) ~18 (月)
	2 月強化合宿	埼玉県・戸田ボートコース	22/2/15 (月) ~21 (日)
	3 月強化合宿	埼玉県・戸田ボートコース	22/2/26 (金) ~3/1 (月)
ジュニア	第 1 次強化合宿	熊本県・斑蛇口湖ボート場	6/14 (日) ~18 (木)
	第 2 次強化合宿	福井県・久々子湖ボート場	7/6 (月) ~15 (水)

#### 2) 海外合宿

世界選手権大会、ワールドカップ、世界ジュニア選手権大会の事前強化合宿を以下のとおり実施した。

区分	事業名	場所	実施日程
シニア	第1次欧州合宿	スイス・ザーネン	6/29(月)～7/7(火)
	第2次欧州合宿	ドイツ・ベルリン	8/4(火)～18(火)
	香港強化合宿	中国・香港	22/1/28(木)～2/7(日)
ジュニア	スイス合宿	スイス・ザーネン	7/21(火)～7/31(金)

#### (5) 競技者育成事業

競技力向上を図るため、「将来性を有する選手の発掘及び育成強化事業」を以下のとおり実施した。

区分	事業名	場所	実施日程
ジュニア	第1次強化合宿	静岡県・浜松市天竜ボート場	12/16(水)～20(日)
	第2次強化合宿	埼玉県・戸田ボートコース	22/1/24(土)～31(土)
	第3次強化合宿	埼玉県・戸田ボートコース	22/2/16(月)～22(月)

#### (6) 普及啓発事業

##### 1) 第22回全国マシンローイング大会の開催

第22回全国大会を10月～平成23年2月の間、全国9ブロック及び14都道府県15会場で開催した。参加者3,460名、昨年比4%減、選手登録者の40%が参加した。

##### 2) 2009年JOCスポーツ祭りへの参加

10月12日(月)、国立科学センターで開催されたJOCスポーツ祭りに参加して、エルゴによるボート体験コーナーを設置、約1,000名の参加者へボートの普及指導を行った。

##### 3) 関連団体の活動支援

中学校、高等学校ボート競技の普及振興及び障害者ボート競技の普及を図るため、それぞれの関連団体である全国中学校ボート連盟、全国高体連ボート専門部、NPO法人日本アダプティブローイング協会の競漕大会と普及活動に対して助成金交付と業務支援を行った。

#### (7) メディカル・ドーピング検査

本年度は以下のような事業を実施した。

##### 1) 主催大会開催中の救急事態に備え、医師を会場に常駐させ対応を図った。

##### 2) 海外遠征に医師を帯同させ、選手のメディカルチェック、コンディショニングの調整、助言などの業務に当たらせた。

##### 3) 全日本選手権大会(全日本、全日本軽量級、全日本大学、全日本新人)及び第62回朝日レガッタに於いて、大会内ドーピング検査を日本アンチドーピング機構(JADA)の委託事業として実施した。計59検体の検査結果はすべて陰性であり、協会広報誌、ホームページで結果を公表した。また、大会外検査は16件行い、結

果は全て陰性と FISA へ報告した。

4) 協会ホームページ、日本アンチドーピング機構との協力を通じて、アンチドーピングに関する普及・啓発講習会を 4 回、大会開催時及び強化合宿の際に実施した。

5) 選手の身体データの収集・分析を継続し、ミズノスポーツ振興財団の助成を得て漕力解析の研究を実施した。

## 5. スポーツマンシップの育成と競技者資格の決定に関する事業

本年度は以下のような事業を実施した。

### (1) 選手登録

都道府県ボート協会と所属競技団体に対して、インターネットによる選手登録・競技エントリーシステムの活用を推進し、47 都道府県協会の全てで運用体制が整った。

### (2) 新選手登録制度

現制度を見直して、もっと広い層から団体・選手登録や競技会への参加機会が図れるよう、新たな選手登録制度の確立に向けて検討ワーキンググループを設置した。

## 6. 競漕艇及び附属具の規格の決定と審査に関する事業

本年度は以下のような事業を実施した。

### (1) 規格艇の検査

第 64 回国民体育大会、第 57 回全日本高等学校選手権競漕大会、第 21 回全国高等学校選抜大会に於いて、使用艇の検査・監視業務を行った。

### (2) 新型レクリエーション艇の開発

スピード感があり、子供にも取扱い可能で安全性の高い普及艇の開発をスポーツ振興くじ助成事業として実施し、1 社に形式承認を与えた。

## 7. 各種ボート競技に関する図書の刊行に関する事業

### (1) 協会広報誌の発行

「月刊ローイング」489 号～496 号を発行して、当協会の事業、全国のボート関係活動、ボート競技の記録、指導・育成などに関する記事を掲載した。

### (2) 広報活動

東京運動記者クラブの他、報道機関、テレビ、メディアと連携を図り、国内大会及び国際大会に関する情報を提供などを通じて協会事業の広報活動を行った。

### (3) 協会ホームページ

協会ホームページのグレードアップ、リニューアルを進めて、当協会事業に関する情報を迅速にアップし、関係団体・関係者に広く周知を図るとともに、より一層のコンテンツ充実を努めた。平成 21 年度の協会ホームページへの総アクセス数は、約 450 万件となっている。

### (4) 都道府県ボート協会ホームページの開設支援

都道府県協会の要請に協力し、ホームページ開設・維持に必要な支援を行った。当年度末の時点で 47 都道府県協会のうち 28 協会が開設している。

## 8. その他の目的を達成するため必要な事業

### (1) 協会財政基盤の強化に関する事業

第87回全日本選手権大会の開催に当たり、企業・団体からの協賛を募った。1社より特別協賛、12社より一般協賛の協力を得た。戸田競艇組合からは日本代表クルーに対して資金面のサポートを得た。

### (2) 新公益法人制度移行に関する業務

新制度のもとで協会運営を行うため、定款、諸規定、事業計画、予算策定、その他移行に必要な準備作業を進めた。

### (3) クルージャパン

日本代表選手団「クルー・ジャパン」の活動を支援するため、クルー・ジャパンサポーターズクラブをはじめとするプログラムを発足させた。

以上